

Alma Mater SAPIENTIA

英知大学同窓会会報

Vol. 9 Mar. 10, 1998

発行：英知大学同窓会

〒661-8530 兵庫県尼崎市若王寺2-18-1

発行責任者：野村裕

編集：英知大学同窓会

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ●新生会員をお迎えして……………1 | ●関東支部だより……………6 |
| ●事務局だより……………2 | ●誕生!!和歌山グループ……………6 |
| ●土曜講座のご案内……………3 | ●会費システムについて……………7 |
| ●1997ホームカミングディ……………4 | ●クラブ紹介……………7 |
| ●卒業生からの手紙……………5 | ●お知らせ……………8 |

新正会員をお迎えして

会長 野村裕

卒業生の皆さん、ご卒業を心よりお喜び申し上げます。また、同窓会への正会員としての入会を、心強く思い、心から歓迎の意を表わしたいと思います。

われわれの在学中に比べ、現在の大学の施設、カリキュラムなどは、数段の違いがあり、毎年驚いています。大学も今年で開学35周年を迎えることになりました。キャンパスの美化整備工事も着々と進行し、メインタワーも今年の秋には完成予定と聞いております。

この記念すべき年にご卒業された皆さんは、幸せだと思えます。反面、これから実社会に飛び立つ皆さんにとって、近年の傾向として経済、社会全般にわたって非常に厳しい状況であることは否定できません。

皆さんも去年からの就職活動で実感されたように、今、日本全体が「不確実性の時代」にあると言えます。大手銀行、証券会社、ゼネコンなどの相次ぐ倒産・破綻はご存じの通りですが、このような大型倒産の恐れは今後もあるものと思います。と同時に、底流では終身雇用の風化も始まり、どのような雇用環境になるのか図りしれません。個人はどう生きていくのか。日本の今後の方針はどうなるのか。われわれ実社会に生きている人間にとっても、1

年先は言うに及ばず、1カ月いや1週間先が読めない、不透明な時代になってきたのです。

今後ますます、企業に支えられるのではなく、各個人がどう生き、どう考え、どのように企業を支えていけるかが、真に問われてくると思います。大蔵省のキャリア組が批判されるように、学歴社会から真の実力社会への転換が、急速に推し進められるのではないでしょう。か。たびたび申し上げていることです。が、今後いっそう「主体的自主的責任」というものが、各個人に強く求められることになると思います。その中で「英知大学」を卒業したわれわれも、落ちこぼれないようがんばっていかねければなりません。われわれ同窓生が、各自強く生き、助け合うというマインドを持つことが求められてきます。

大学当局も、生き残りをかけ、努力を惜しまず挑戦されています。われわれ同窓会も、大学を側面的に支え、発展への一助とならなければなりません。そのためにも、大学・同窓会に対して、今後もしつそうのご理解とご協力を賜ることを望みます。

われわれ一人ひとりの力が大きな流れとなるよう、努力しようではありませんか。

英知大学 SAPIENTIA UNIVERSITY

これまで英知大学の英語での正式名称は EICHI UNIVERSITY でした。私達同窓生が最もなじみの深い SAPIENTIA は単なる愛称に過ぎませんでした。今年度より、国外に対する名称として、SAPIENTIA UNIVERSITY と統一することが決定しました。

SAPIENTIA を積極的に全面に押し出すことによって、海外においても、我々が母校の建学の精神や校風を、よりいっそう知らしめることにつながることでしよう。

英知大学では蘇州鉄道師範学院（中国鉄道省立大学）との姉妹校提携など活発に海外との交流を進めています。この英語名称統一を機に、国内的には言うに及ばず、国際的にも高い評価を受ける大学として発展していくことを期待してやみません。



97年12月11日、忘年会にて



スタッフも一緒に、お疲れ様！

昨年12月11日（木）大阪梅田のフランス料理店で「1997年お疲れさま忘年会」が開催され、30名の出席者で会場は満員、楽しい一年の締めくくりでした。

ところで、11月3日の「ホームカミングデー」は、近年にない盛り上がりでした。ちゃんこ鍋や焼肉などの屋台、豊富な売り物のそろったバザー、旅行券やディナー券の当たるビンゴ、いづれも昨年とは違った工夫があり、来場の同窓生や先生方は満足されたようでした。なかには卒業以来、20数年ぶりという卒業生もあちこちで見かけ、同窓会の存在が再認識され、呼び掛けに効果があったのかと、役員も事務局も心から喜んだのだ

いでした。

昨年、松本清張賞を受賞した村雨貞郎氏（本名前田定夫、昭和44・50年西科在籍）や、ジャズピアニストとして活躍中の中井葉子さん（昭和56年仏科卒）も出席し、会場は華やかな雰囲気でした。総来場者は約300名、[総会]への参加が少なかつたのは、気掛かりでした。

ところで、この盛り上がりには陰の立役者がいました。それは在学生準会員のスタッフたちです。今まで、同窓会とは縁のなかつた彼らに積極的に参加していただきたいとお願いしたところ、快く10名の準会員が、準備と当日の運営に力を貸してくださいました。

忘年会へは、もちろん彼らスタッフも参加いただき、みんなで大いに労をねぎらい、楽しく時間いっぱいまたまた盛り上がりたしだいです。きつと卒業後は、若い役員として活躍していただけたらとしましょう。

今年は、開学35周年の記念の年であり、サピエンチア・タワーの完成とともに、大学ではお祝いの行事が予定されており、同窓会では、是非とも大学と協調し、お祝いを盛り上げたいと考えております。昨年の盛り上がりにも弾みをつけ、いっそうの集りになるよう準備をしたいと思っています。

当日は、会員の皆さん、お友だちお誘い合わせのうえ、ぜひご参加を心からお待ちしております。

「年間行事予定」完成。

別掲載のとおり、同窓会の年間行事予定がまとまりました。大学の4月以降の予定が決まらず、遅くなりました。いろいろな大学行事のたびに、同窓会役員は大学に出向く機会も多いわけですが、会員のみなさまにもお忙しいでしょうが、是非足をお運びください。懐かしい先生方や、後輩たちに会えることでしょうし、変わり行くキャンパスを見ていただけることでしょう。

ところで、昨年同様、今年も新しい企画を継続いたします。

昨年から開催された「英知教職員と卒業生の懇親ビアパーティ」が、今年も7月16日（木）午後5時からを予定しております。

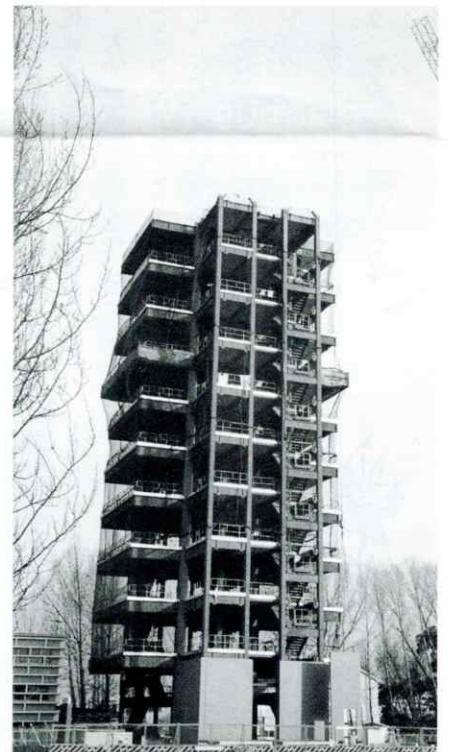
また、「交流スポーツ大会」は同窓生と在学生との交流を深めるため、ソフトボールなどのスポーツ試合を、夏におこないます。昨年は、同窓会チーム、善戦空しく破れております。しかし、終了後は、焼肉やちゃんこ鍋で一層の交流会と盛り上がりました。今年の大会では、是非とも同窓会チームの善戦・優勝が必至です。第三回大会では、多くの卒業生の皆さんの参加を期待いたします。クラス毎、クラブ毎、ゼミ単位など、男女混合、年齢混在など規定はありません。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

「事務局へのお問い合わせ」について、お願いいたします。

事務局が発足して、早3年がたちます。さまざまなお問い合わせをいただいたり、企画にご協力をいただいたり、会員の皆さんのご認識が深まってきたのではと、内心喜んでおります。

ところで、左記の点については、改めてご確認頂きたいとお願いいたします。

「会員の住所などの連絡先に関するお問い合わせについて」です。会員の連絡先は、入会金・年会費をお収めいただいた方や、会員で名簿代金をお支払いいただいた方は、「同窓会会員名簿」をお持ちの方は、必ずです。しかし、名簿をお持ちでない方からの、他の会員の方の連絡先のお問い合わせがしばしばございます。このような場合の事務局の対応について、改めてお知らせいたします。



9月末完成予定のサピエンチアタワー

一、まず、「名簿」をお持ちかどうか確かめます。

二、お持ちでない場合は、年会費をお納めいただくか、名簿代をお送りいただければ、「名簿」を送りする旨、お伝えします。

三、いづれも、ご協力いただけない場合は、ご本人（Aさん）とお知りになりたい方（Bさん）の住所・電話などの連絡先をお聞きします。事務局よりBさんへ連絡し、Aさんのご意向をお伝えし、ご了解の場合、BさんからAさんへ直接、ご連絡をしていただく旨をお伝えします。

この方法は、大変不便なようですが、今日の社会状況下では個人のプライバシー保護のため、やむを得ないものと考え、ご了解をいただきたいと思います。

会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

事務局代行 須澤 晃

（就職部就職課長）



「土曜講座」のご案内

「TOEICブラッシュアップ講座」とTOEIC試験

とても喜んでいらっしゃるようです。合宿の集中講座にも卒業生が参加されたのには、在校生に大いに刺激となったようです。目標は、まず650点です。

お申し込みをお待ちしております。なお、締め切りは、開始日の10日前です。予定の講座や試験は、左記のとおりです。

■第7回TOEICテスト

3月14日(土) 午後1時半

■第5回TOEIC

ブラッシュアップ(土曜) 講座

5月9日から6月13日まで

午前9時半から12時半まで

■第8回TOEICテスト

6月20日(土) 午後1時半

■第3回TOEIC

インテンシブ(合宿) 講座

8月1日から8月6日まで (5泊6日)

■第9回TOEICテスト

9月26日(土) 午後1時半

■第6回TOEIC

ブラッシュアップ(土曜) 講座

11月7日から12月12日

午前9時半から12時半まで

■第9回TOEICテスト

12月19日(土) 午後1時半

●「計画中」第4回TOEIC

インテンシブ(合宿) 講座

1999年3月3日から3月8日まで (5泊6日)

■「計画中」

第10回TOEICテスト

3月13日(土) 午後1時半

また、在学が卒業生の参加を

「学内企業説明会」開催!!

就職部主催、同窓会後援で、就職活動を具体的に支援する。

昨年1月、「就職協定」が廃止されたことは、皆さんもご存じのことと思います。そのことによって学生の就職活動は、いくぶん早期化し長期化するであろうと予想しましたが、大きな予想外のことが起こりました。それは、各大学で「学内企業説明会」が、盛大に開催され始めたことです。

そこで、本学においても英知大学の規模や実績を払拭し、学生に有利な就職活動を支援するために学内企業説明会が必要と準備しました。当初は、



どの程度ご協力いただけたか心配でしたが、就職部主催、同窓会後援として、卒業生が在職している企業で、比較的今日の学生の志望の多い企業を選び、お願いして参りました。その結果、予定の15社は、早速にご了解をいただき、2月19日の開催となりました。

当日は、約150名の3回生がリクルートスーツや、いつものとは違った社会人風のいでたちで、真剣に先輩や企業の人事担当の方の話を耳を傾けていました。場合によっては、一次面接ともとれる出会いのため、緊張の面持ちのなか、学生にとっては、またとないチャンスと反応は上々のようでした。

なお、本年は初めての試みのため、1日のみで、15社と参加企業も少なく絞りましたが、来年は早めに準備し、多くの企業の参加を予定したいと考えています。在学生はOG・OBとの出会いを心待ちにしております。会員の皆さまが、「ぜひわが社も」とご協力いただける場合は、就職課までご連絡をお願いいたします。



す。心からお待ち申しあげております。

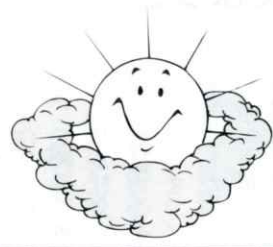
なお同窓会後援として卒業生の勤務先でもある企業のご紹介、ならびに参加在校生への粗品の提供を賜わり、心から感謝いたします。

ご参考までに今年の参加企業は、以下のとおりでした。

- ①大阪めいらく、②神戸ポートピアホテル、③サニックス、④三和紙器、⑤西洋フードシステムズ、⑥大福信用金庫、⑦大丸興業、⑧茶谷産業、⑨東急観光、⑩阪急国内空輸、⑪ビジョンメガネ、⑫ホテルフラザ、⑬三城、⑭ランテック、⑮レリアン(15社、50音順)

就職課主任 藤原 正嗣
(1980年西科卒)

同窓会レポート



ホームカミングディ

毎年恒例になったホームカミングディ。昨年も11月3日に行なわれ、今回は、今までにない工夫を凝らし、イベントの方も盛りだくさん、そして会場の学生食堂にははちきれんばかりの人、人、人で埋め尽くされたそんなホームカミングディになりました。

食堂に來ると、まず目に入るのは風船で形どられたアーチ、そして、入口の扉を開けると紅白の幕、一瞬会場を間違えたのかと思わせるようなインパクト。テーブルには色鮮やかな花が添えられ、中央のメインテーブルには、私たちの来るのを今かと待ちわびる、そんなすてきな料理が私たちを歓迎しているかのようでした。また、ステージを背にしたカフェテラスでは屋台

が並び、お相撲さんもびっくりの豪華ちゃんこ鍋をはじめ、たこ焼き、焼きそば、バーベキューなど「こんなにくさん食べられるかしら」と思わせるような料理に思わずベルトの穴を一つずらす思いでした。バザーコーナーも今回は品揃えが豊富で、書籍、トレーナー、Tシャツ、バック、時計などちよつとしたお店に様変わりし、担当の女性も来た人々の対応に喜びの悲鳴を上げるほどでした。

イベントの方はというと、会長、学長の挨拶を始めに、卒業生でジャズピアノリスト中井葉子さんに、オリジナル曲を披露していただいたり、「マリ子の肖像」で「第4回松本清張賞」を受賞された村雨貞郎（本名、前田定夫）さんにお話をいただいたり、「英知大学同窓会和歌山支部設立準備委員会（和歌山グループ）」の寒川、出口さんに、わが母校に対する熱い志を話していただいたりと、大いに盛り上がりました。



ホームカミングディも終盤にさしかかり、メインイベントのビンゴが行なわれました。今年は賞品も豪華華で、1等には5万円の旅行券、2、3等には、有名ホテルのディナー券が当たるとあってか、今までにない熱気に包まれました。会場も同窓生の心もホットホットな気持ちになり、そこには一体感のようなものが感じられました。一人ひとりのパワーがつながって、皆でこのホームカミングディを成功させたという思いを強く強く感じることできたホームカミングディでした。皆さんのおかげで、とてもいい一日になりました。

喜びと、一体感というすてきな贈り物をいただいたことに心から感謝します。本当に皆さんありがとうございました。

最後に、この英知大学も今年で開学35周年。ここ数年ホームカミングディ参加者も増える一方で、

このさき40周年、50周年と期待もどんどんふくらんできます。

そこで、今年のホームカミングディから実行委員会を発足させようと思っています。そして、皆さんの創造性や才能で多くの人とつながりませんか。今こそ、誰かがやるのではなく、「やりたいからやる」というリーダーシップが必要な時だと思っています。勇気をもって扉を叩く時、それは立派なリーダーだと思っています。その力が広がり、世代を越えたかわりあいがある私たちに、喜びと幸せという産物を今以上に生み出すような気がします。そして、リーダーという枠を越えて、誰もが与え受け取ることでできるそんな同窓会になっていったら素敵だと思っています。

（1992年英科卒 前中正彦）



今年もやります。 六甲山トレッキング！



昨年、二人だけで楽しんだ六甲山。

今年も懲りずにまたまたやります。春のうららかな一日を六甲山ですこしてみませんか？コースは前回と同じく、阪急芦屋川駅から有馬温泉まで。ゆっくり歩いて4時間くらいの行程です。山あるきの苦手な方、初心者でも気軽に楽しめるコースです。ですから、安心して参加してください。そして有馬温泉の湯上がりに乾杯しましょう。



●日時

1998年4月12日（日）

午前9時30分

●集合場所

阪急芦屋川駅改札口

※水筒・お弁当をご持参下さい。また、有馬温泉（銭湯）や帰りのバス代などは各自の負担となります。



再び英知へ

1989年 仏学科卒
(株)地中海クラブ勤務

地村 昭彦

私は、自分の母校である英知大学と「再び」関わりを持つために、同窓会役員の手伝いをしております。

時が経つのは早いもので、卒業してから9年もの歳月が過ぎようとしているのに、なぜ、今、再び



大学との関わりを持つのか？この会報をお読みの中の同窓生の中には、卒業後、大学と何ら関わりも持たずに過ごされる方も多いと思います。

私が同窓会に関わったのは、卒業後就職した会社でのできごとがきっかけでした。私は、英知大学卒業後、暫らく、あるベンチャー企業に在籍していました。そこでは、学歴・年齢・出身校に関係なく、仕事の実績に応じて、昇進し給料が決められていました。英知大学出身の私としては、非常にやりがいがあるものでした。

しかし、その会社も、成長するにつれ、店頭公開を果たし、大学卒の新社員が数多く入社するようになると、状況は、少しずつ変わり始めました。

会社側としては、以前と同じように出身校に関係なく人を採用していきたくて思っている、学生の側、とくにマスプロ有名大学の学生は、同窓会などの情報をし、OB・OG訪問をし、就職課のトレーニングなどを受けてやってきます。

(私も、一次面接を担当していたのでよくわかります。)

この状態では、少数の英知大学出身は、本人の人格に関係なく、明らかに不利な状況に置かれるように思いました。規制緩和の旗手であるベンチャー企業でさえこれです。

そう言えば、自分の時もそれとよく似たことがあって苦労したり憤慨したのを思い出しました。もう少し前の私なら、英知大学は、英知大学、私は私と、一匹狼のようなことを言っていたかもしれせん。しかし、今、自分のことを冷静に見つめ、自分がここにあるのも、英知大学があつてこそと考えるようになっていったのです。

それと共に、こんなことでは、自分自身が過ごした英知大学が、なくなってしまうような危機感を抱きました。

これからの日本は少子化に向かい、大学全入の時代といわれています。今、私たち同窓生が立ち上がらなければと思ったのです。

私も、英知大学のよさ、たとえば、人生を語り合える一生の友人に巡り合える。(クラスメートの中には、一生の伴侶を見つけた者もありました)。また、薫陶を受けた多くの先生がいっぱいいます。

その反面、私は世間での認知度が、低いといった不満など、英知大学に、愛憎入り交じった、ちょっと複雑な思いを抱いていました。



英知大学を卒業されて、旅行業・ホテル・航空業にお勤めの方で、親睦会をつくりたいと思います。
●連絡先

(株)地中海クラブ大阪支店

地村昭彦

TEL06・635・3052

FAX06・635・3054

のままでした。

よく、同窓会会合の中で同窓会とは、「心の癒し」の場所ではないのか、という内容の話を大先輩から聞かされていて、今回のケースでは、その意味を確認させられたいような気がします。

ぜひ、皆さんも再び英知へ。

今回、私の非常に私的な見解を述べさせていただきましたが、もし、これをお読みいただいて、一人でも多くのかたが、私たちの仲間に加わっていただけることを願ってやみません。

関東支部便り



昨年は政府の後手後手の対応の悪さが直接的原因となって、日本全国が不況一色のままで年が明けました。この会報が出る頃には、また新たな倒産が新聞紙上に現れているかも知れません。しかし、かたや郵便貯金は至上最高を記録しているのも事実です。この相反するような2点をどのように考えるべきか、今は、自分が働いている会社も年金もどうなるか、まったく読めないというより悪くなっているばかりのように感じます。ということが皆をタンス預金に走らせているのではないかと思います。政府の対応が不安をあおらなければ、本当は必要な物やサービスがまんしないで購入したいと思っていないのでしょうか。

さて私たち関東支部は、地域の特性上転勤が多いのですが、現在会員は230名を越え、今後さらに増えていくはずですが、

地元の関西から好む好まざるにかかわらず、関東に引越して来られると、仕事や生活などのさまざまな情報が必要になります。いくら情報化社会とはいっても、情報は信頼できる同じ大学の出身者のアドバイスに勝るものはないでしょう。そこで今作成している情報ネットワークが威力を発揮するわけですね。

私たちはそのために皆さんからのより多い情報提供を期待しているのです。できる限り頻繁に更新

しておりますので、新しく何かを始めたとか、新しい発見があった時は、イベントのご案内の返信時にぜひお書きください。

ところで私が支部長をさせていただいて、丸1期が過ぎました。97年は、会員数が増えた割に、各種イベントの参加者数が増えなかったことが残念であり、反省すべき点です。

ほぼ毎月のように支部役員が集まり、どうしたら多くの方々に出席していただき、楽しんでいただけるのかを、いろいろ話し合うのですが、なかなか結果が出ないのが現実です。当然皆さんには仕事があったり、家族があったりで、

毎日なぜこんなに忙しいのかと思われているのではないのでしょうか。皆さんはいろいろな方法で息抜きをされていると思うのですがその一つに同窓会のイベントが加われば...と思ひ知恵を絞っています。どんなことでも結構です。助けてやろうと思われの方がいらしたら大歓迎しますので、永森宛にご連絡ください(誌面を借りてお願いします。)

少し愚痴っぽくなりましたが、救いは、総会の時に就職課の須澤さんのご尽力で、新卒の方がたくさん出席して下さい、交流ができたことです。このような地道な積み重ねが同窓会の層を厚くしていくのではないのでしょうか。

最後に今年度の予定ですが、先程も記したように、息抜きになるイベントにするため、楽しく過ごせる企画をめざして鋭意準備を進めていますので、多めに期待してください。また今度でできませんでしたが、アウトドアで楽しく遊べるイベントもなんとか実施できるようにしたいと考えております。

今、大学の方では整備事業が大々的に行なわれていることでしょうが、完成された姿を見られるのが今から楽しみでなりません。これを機に、大学並びに同窓会のさらなる発展を期待して、筆を置きます。

関東支部 支部長

1978年 仏科卒 永森孝夫

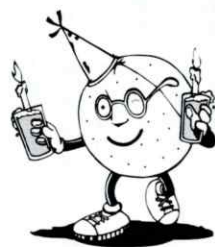
誕生！ 和歌山グループ

和歌山支部設立準備委員会「つれもつじい」

関東支部に続き、和歌山でも支部を設立したいとの声があがりました。

1973年英科卒、寒川氏を中心としたグループは母校の今後の発展を願い、それに同窓生が一丸となって寄与すること、また、同窓会会員の親睦のために支部を設立するべく意欲を燃やしています。

先日、役員会へと送られた手紙には母校への熱い思いが込められていました。それを受けて、昨年度の総会で和歌山グループの設立が議題に上りました。代表の寒川氏も総会に出席し、満場一致で和歌山グループの設立を議決しました。支部設立にむけて活動を開始していただき、それらの活動が支部としてふさわしいものになるよう



期待して止みません。

和歌山県下には現在70名余の会員がいます。昨年の10月18日に第1回の親睦会が田辺市で行われ、14名の参加者が集り、この呼びかけに対して半数以上の方々より励ましの便りがあつたとの報告も受けております。

同窓会では関東支部、和歌山グループをはじめ、クラブ単位やクラス単位、学年、同業者同窓会など、会員が相互に親密な横のつながりを深めていけるような会の誕生を呼びかけております。一人ひとりの小さな活動が、積み重なって母校の発展に、同窓会の発展につながっていくのだと信じています。このような活動はぜひ同窓会にご連絡下さい。でき得る限りの支援、協力をさせていただきます。

和歌山グループ代表 寒川氏



会費システムについて

前期までに、いろいろ積み残しはあるものの、「名簿システム」の電算化が何とか終了しました。現状のシステムは、大学側のご厚意に甘え、就職課のコンピュータ上に間借りする形で運用されています。94年度に着手以来、皆様の御協力のもと、「とにかく、会費をお届けしたい」の段階は何とかクリアーできたと考えております。

今回、11月3日の総会で、ご承認いただきました、「同窓会費に関する管理システムの充実」を実行に移しました。

組織の充実と運営費の確保を計るべく、在校生の方々の準会員として受入れ、スタッフも選出しました。お納めいただいた入会金と年会費を、同窓会専用マシンで管理し、更なる充実を期しています。

新システムの概要をご紹介します。新システムでは会員を、正会員(卒業生)、準会員(在校生)に分け、会費は、入会金と会費(年会費と終身会費)に分かれています。現状では、入会金の未納者が何名か居られ、公正を期すため、暫定措置として、当面、会費に優先順位を設け、入会金、年会費の順に処理

します。入会金未納者が年会費を納入した場合は入会金に充当されます。(未納の方には御請求させていただきます。)また、幸いにも大学側のお力添えで、今春の新入生より入学時に入会金をお願いすることになり、今後は公正に処理できるものと考えております。

当然、今回のシステムは、従来の「名簿作成」を主眼にしたシステムに付加する形で「会費管理システム」を構築しましたので、4年に一度の「名簿発行」にも寄与できるシステムとなっております。

今年は、開学35周年に当たり、同窓会も一層の充実を図ってまいりたいと考えています。同窓会活動の基盤となる運営費の確保に一層の御理解と御協力をお願いいたします。

なお、繰り返しになりますが、住所変更等のご連絡を、切に願います。情報をお寄せいただかなければ更新作業が全うできない性質のシステムです。重ねてお願いいたします。教職員の方々、海外在住の方々の情報も併せてお願いします。(すべて事務局宛)

●別紙に詳細を記載

クラブ紹介

女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は創部5年目のとても若いチームです。今でこそ皆が「女バレ」「女バレ」と呼びますが、まだクラブとして認められていなかった時には、今では想像がつかないほど私たちの先輩方は苦勞してきたと聞いています。

クラブではなくサークルということは、様々なことが制限されてしまうのです。公式の大会の出場不可、放課後の体育館の使用不可、英南戦はオープン戦として戦うなどです。

特に、体育館の使用については大変苦勞したと聞いています。毎日2限目終了後すぐに着がえて体育館に行き、たった45分間だけの練習をしていたそうです。当然ゆっくり昼食をとっている暇などないから、パンをくわえながら体育館を往復し、またすぐに3限目の授業に行き、また体育館の使えない日は外で練習していたと聞いて

います。

そして、その努力が実り、クラブとして認められ、リーグ戦にも参加し英南戦においても対等に戦えるようになったのです。その頃の先輩方の努力が現在の女子バレーボール部がクラブとして活動していける土台となっていたのです。

それから5年たった今、去年と今年2年連続でリーグ戦において昇格し、英南戦においても初勝利、しかもストレート勝ちという好成績をおさめることができました。

私たちがこのような好成績をおさめることができたのは、先輩方の力はもちろん、もうひとつは学校側の援助のおかげでもあります。

私たちはボールやユニフォーム、大会への参加費など、バレーボールをするために助けてもらっているということを忘れてはいけません。また今までよりも当然良い環境でクラブ活動をしていけるのです。様々な大会で良い結果をだし、それによって学校側からの援助がいただける。そのおかげで、

さらに良い環境で練習できる、という良い状態で循環していついていくのです。

監督のいない私たちは自分たちで練習のメニューやメンバーなどを決めていかなければなりません。しかし、学生の力だけではどうにもならないことがあるのです。それが金銭面なのです。

現在学校側の援助により購入できたものは、ボールやユニフォーム、そして春季・秋季リーグ戦への参加費、また遠征費の個人負担を少しでも軽くできるようにと、学校の練習以外で活動・活躍するためにありがたく使わせていただいております。私たちは3年間とても良い環境でバレーボールをやらせていただきました。そのおかげで、リーグ戦においても英南戦においてもものびのびと試合ができ、好成績をおさめられたのだと思います。

これから後輩には、さらに良い環境でクラブをしてもらいたいと思っています。そして、サークル時代の先輩方の苦勞、私たちのために援助してくださっている学校への感謝の気持ちを忘れずにいてほしいです。



開学35周年記念パーティ

今年度は開学35周年にあたり、同窓会では30周年記念パーティからはじめて毎年、ホームカミングデイを開催してきました。そのホームカミングデイをさらにパワーアップして盛りだくさんの企画で皆様をお迎えするべく準備を進めています。

さらに今年度は待望のサピエンチア・タワー（仮称）のお披露目パーティも11月3日に予定されています。大学側から同窓会のホームカミングデイとお披露目パーティ



イとを共に行いたいとの話も出ております。もし実現すれば、後援会、同窓会、大学関係者、など盛大なパーティが繰り広げられることでしょう。

母校を離れて久しい方も、今一度、母校へと足を運んでみてはいかがでしょうか。発展、飛躍しつつある我が母校、英知大学の今の姿をご覧下さい。同窓会役員一同、知恵と英知と真心を込めてお待ちしております。

ようこそ。我が母校へ。

英知にて英南戦

来たる11月14（土）、15（日）

これまで南山大学へと遠征していた英南戦。体育会系のクラブ出身者には多くの思い出が残っていることでしょう。

そんな一大イベントが英知にて開催されます。ホームグラウンドでの開催ということ、遠征の疲れもなく、いつもよりものびのびと日々の練習の成果を遺憾なく発揮してくれることでしょう。後輩たちの晴れ姿に熱い声援を送ってやってください。

頑張れ！英知。

ソフトボール大会のお知らせ

来たる8月8日（土）。ソフト

ボール大会を行います。同窓生と現役生の交流を大義名分としておりますが、堅苦しいことは考えず、ふるってご参加下さい。普段、椅子に座りっぱなしの日々を送っていませんか？ たまには青空の下、思い切り体を動かしてみたいかがでしょうか？

クラブ単位、クラス単位、会社単位でチームを組んでいただいても構いません。もちろんお一人でも結構です。これまで、残念ながら同窓会チームは現役生チームに、こてんぱに打ちのめされています。このままでは先輩としてのうだつがあがらないままです。なんとか先輩らしく、後輩たちに一矢を報いようではありませんか。我こそはとお考えの方はぜひ、私たちに力を貸してください。

当日はバーベキューも予定しております。休日を楽しみ母校で過ごしませう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

THE EDITOR'S COMMENT



前回の会報では重大な誤植が発生しました。おわびと訂正の葉書が皆さまの元に届いたかと思いますが、会報紙面をもちましてあらためて深くおわび申し上げます。

昨年度の総会で、これらのことを深く反省するとともに、チェック機能を充実させてゆくこと、印刷業者への過度とも思える業務委託を改善することを約束しました。しかし、今回の会報も付け焼き刃的にとばたと創り上げているのが現状です。校正作業くらいは念入りに行ったつもりですが、それでも充分とはいえないでしょう。

会報はけっして役員のみが走り回って創るものではありません。会員各位の協力があるつてはじめて発行できるものです。私たちの私たちのための会報です。気軽に原稿をお寄せください。ご意見、お叱りの声もお寄せください。参

考にさせていただきます、よりよい会報創りをめざしていきたいと考えています。

新入生の皆様へ

ご入学おめでとうございます。

ようこそ我らの英知大学へ。この会報は3月に発行されました。内容が卒業生に向けたものとなっているのはそのためです。

悔いのない充実した学生生活を送っていただくために、私たち同窓会はさまざまなイベントや奨学金制度、クラブへの支援、大学祭の支援、就職活動の支援などを通じて積極的にバックアップしていきます。大学在籍中は同窓会準会員として登録され、卒業後は正会員となります。皆さまの充実した学生生活が、英知大学のさらなる発展、同窓会の発展につながることを期待しています。

学生生活の4年間は人生の方向性を決定するほどの大きなものとなるでしょう。精一杯、力を尽くしてください。また、楽しんでください。ようこそ英知へ。

英知大学同窓会 大月 力

足達 万理

会員4,900名中、出席者278名(出席者31名・委任状247通)。会員の10分の1に満たないため、仮決議。30日以内に異議がなかったため本議決となりました。

1998年度事業計画案

1998年度においては、以下の点に凝縮し、事業を推進したいと考えています。

何よりも同窓会の活動は、英知大学及び英知大学大学院の発展に寄与するものでなければなりません。

今後一層の同窓生間の連絡を密にし、多くの同窓生と交流できるよう図り、英知の発展と在学生の支援を惜しみなく進めていきたいと考えます。

そのような観点から、1998年度の事業計画は以下のとおりいたします。

- (1) 同窓会費に関する管理システムの充実
- (2) 同窓会組織の充実
- (3) 同窓会「会報」の充実

1998年英知大学同窓会予算案(1997年10月1日～1998年9月30日)

【収入の部】

(単位:円)

費 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	8,021,454	
同窓会会費	7,400,000	98年度新入生 20,000×370名
在校生入会金	17,540,000	1回生358名, 2回生317名, 3回生325名, 4回生396名
年会費	600,000	年会費3,000円×200名
終身会費	1,500,000	終身会費30,000円×50名
受取利息	250,000	
合 計	35,311,454	

【支出の部】

(単位:円)

費 目	予 算	摘 要
旅費交通費	100,000	関東支部交流他
通信費	500,000	
監査費	120,000	会計監査
事務用品費	100,000	消耗品
支払手数料	50,000	
会議費	400,000	役員会議費(年間20回)
事務局維持費	1,500,000	アルバイト代他
印刷費	3,500,000	会報年2回・名簿追補版・案内状委任状他
OBクラブ開催費	1,000,000	HomeComingDay及び総会
助成金	4,000,000	実行委員会・クラブ・クラブOB会・クラス会等
会費に関するシステム作成費	4,000,000	
献花費及び記念品費	100,000	入学・卒業
配付金(関東支部)	350,000	関東支部運営費
雑費	250,000	写真代他
予備費	19,341,454	次年度繰越金等
合 計	35,311,454	

新役員改選

会 長: 野村

副 会 長: 藤本、和田

書 記: 大月、足達

会 計: 前中、安部

会計監査: 田中、大牟田

常任委員: 稲田、藤原、楠川、地村、崎山、小林、泉、村瀬、松下、玉那覇、玉島、山本、波越、張、早瀬

1998年度年間行事予定

同窓会年間行事予定		大学年間行事予定	
1月22日	月例会		
2月12日	臨時月例会	2月19日	学内企業説明会
2月26日	月例会		(就職部主催・同窓会後援)
3月18日	卒業式準備 (於大学講堂)		
3月19日	卒業式 (於大学講堂)		
3月26日	月例会		
4月 1日	入学式	4月 1日	入学式
4月12日	六甲山トレッキング		
4月23日	月例会		
5月21日	月例会	5月29日	体育祭
6月20日	合宿月例会	6月11日	入試説明会
21日			
7月16日	第2回交流ビアパーティ (英知教職員と同窓生との交流)	7月25日	オープンキャンパス
7月23日	月例会		
8月 8日	第3回交流スポーツ大会 (在学生や社会人と同窓生との交流)		
8月20日	月例会		
9月17日	月例会		
10月15日	月例会		
10月29日	月例会		
11月 2日	ホームカミングディ準備		
11月 3日	総会・ホームカミングディ		
11月14日		11月14日	英南戦
15日		15日	
12月17日			

※以上が、おもな年間行事ですが、都合により日程が変更になる場合がありますので、事前に事務局までお問い合わせください。

1997年度 英知大学同窓会 決算報告書

【収入の部】

(単位:円)

費 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	9,104,977	
同窓会入会金収入	4,700,000	同窓会入会金収入
同窓会会費収入	403,000	《別紙参照》
名簿売上高	52,000	同窓会名簿売上高
受取利息	12,402	《別紙参照》
雑収入	191,820	《別紙参照》
合 計	14,464,199	

【支出の部】

(単位:円)

費 目	金 額	実 績	摘 要
配付金(関東支部)	350,000	350,000	関東支部運営費
旅費交通費	100,000	360	関東支部交流他
献花費及び記念品費	60,000	20,000	入学・卒業
OBクラブ開催費	1,000,000	904,320	HomeComingDay及び総会
印刷費	3,000,000	1,773,663	会報年2回・名簿追補版・案内状委任状他
大学祭実行委員会助成費		50,000	
クラブ・クラブOB会助成費		135,000	
クラス会助成費	3,000,000	500,000	留学生助成金他
同窓会開催費		313,289	
事務用品費	100,000	64,432	消耗品
支払手数料	50,000	17,378	
郵送費	500,000	1,345,131	名簿郵送費他
事務局維持費	500,000	336,630	アルバイト代他
会議費	200,000	356,080	役員会議費(年間20回)
監査費	120,000	100,000	会計監査
雑費	250,000	176,462	写真代他
予備費	12,574,977		年次度繰越金等
合 計	21,804,977	6,442,745	

(単位:円)

前年度繰越額	9,104,977
本年度収入額	5,359,222
本年度支出額	6,442,745
次年度繰越額	8,021,454

財産目録 (1997年9月30日現在)

【資産の部】

現金及び預金

(単位:円)

本部現金	756,841
事務局現金	29,784
合 計	786,625

普通預金

(単位:円)

さくら銀行/園田支店 No.3928064	549,294
さくら銀行/園田支店 No.4053087	5,005,395
さくら銀行/難波支店 No.6386541	401,449
尼崎信用金庫/小園支店 No.1002897	65,291
合 計	6,021,429

貸付金

(単位:円)

	350,000
	322,170
	641,230
合 計	1,313,400

資産の部合計

9,404,977

【負債の部】

未払金

(単位:円)

監査費(森会計)	100,000
----------	---------

負債の部合計

100,000

【次期繰越金額】

(単位:円)

	8,021,454
--	-----------

入会金、年会費の徴収について

●正会員=英知大学・英知短期大学及び同大学院の入会金納
付済みの全卒業生

●準会員=英知大学・同大学院在校生

■入会金

現行(平成10年3月現在)入会金は、20,000円

入学時にお納め願います。

■会費

年会費=3,000円 終身会費=30,000円

(同封の振込用紙をお願いします。)

●(95年以前入学) 入会金1万円 卒業時入会金未納者は、
卒業後、入会金として2万円を請求。

●新4回生(95年入学) 入会金1万円 卒業時入会金未納者は、
卒業後、入会金として2万円を請求。

●新3回生(96年入学) 入会金2万円 未納者は卒業後も入
会金として2万円を請求。

●新2回生(97年入学) 入会金2万円 未納者は卒業後も入
会金として2万円を請求。

●新1回生(98年入学) 入会金2万円 未納者は卒業後も入
会金として2万円を請求。

●大学院生 英知大学を卒業したもので、入会金未納者について
は入会金として2万円を請求。

●他校からの入学は入学時に入会金を納入しなければならない。

※なお、英知大学大学院在校中は英知大学卒業生であっても準会
員としてみなされ、年会費3,000円は免除されることとする。大学
院を終了した場合、その年より年会費の義務が発生する。(正会
員としてみなされる)

また、あやまって過度の入金があった場合は次年度以降の年会
費に当てられるものとし、特別の申し出がある場合を除いて、基
本的には返金はしないものとする。